第34回九州地域医学研究会基調講演・シンポジウムのご案内

【目的】

いつ起こりうるか分からない災害に見舞われた際に、私たちは支援者になることもあれば、受援者の立場になる可能性もある。
2011年の東日本大震災ならびに2016年の熊本地震の二度に渡る大きな震災を経験し、改めて支援と受援の在り方について振り返る機会としたい。
また災害時にDMAT・JMAT・地元医療機関がどのように連携し活動することで健康被害を最小限に抑えることができるのか、様々な立場で震災に関われた先生方とともにディスカッションしていく。

【日時】

平成２９年２月１８日（土）

基調講演　16時〜17時

シンポジウム　17時10分〜18時20分

【場所】

鹿児島県医師会館４階大ホール　入場無料

【タイムスケジュール】

16:00〜17:00　基調講演

　　　　　　　「熊本地震を通して学んだ、震災時の医療人の関わり方」

　　　　　　　　座長：宮原　広典　先生（鹿児島県厚生連健康管理センター）

　　　　　　　　演者：中本　弘作　先生（熊本県健康福祉部健康局医療政策課）

17:00〜17:10　休憩

17:10〜18:20　シンポジウム

　　「東日本大震災・熊本地震を経験し、支援受援の在り方や医療連携の在り方を考える」

　　　　　　　シンポジスト：齋藤　充先生（女川町地域医療センター）

　　　　　　　　　　　　　　　中本　弘作先生（熊本県健康福祉部健康局医療政策課）

　　　　　　　　　　　　　　 中俣　和幸先生（鹿児島県保健福祉部）

 永井　慎昌先生（鹿児島赤十字病院）

　　　　　　　　司会：平瀬　雄規（鹿児島県立北薩病院）